

令和 7 年度

令和 7 年度発生

---

農地・農業用施設 災害復旧事業

---

24/210 口和松永農地 災害復旧工事

---

仕 様 書

---

事業主体 広島県庄原市

施工箇所 庄原市 口和町 宮内

令和 7 年度

24/210 口和松永農地 災害復旧工事

---

庄原市 口和町 宮内

地内

---

工 事 価 格

---

消 費 税 相 当 額

---

工 事 費 計

---

## 積算情報

工事名	24/210 口和松永農地 災害復旧工事		
執行年度	令和 7 年度	諸経費区分	農林 令和07年度
工種区分	ほ場整備工事	変更回数	
単価適用年月日	令和 7年12月 1日付 農林	単価地区	51:庄原市(旧総領町, 旧東城町, 旧高野町を除く)
機損適用年月日	令和 7年度 農林	歩掛適用年月日	令和 7年 8月 農林

## 補正情報

施工地域及び 工事場所による補正率	共通仮設費 ..... 中山間地域 現場管理費 ..... 中山間地域
現場環境改善費	計上しない
冬期補正	設定区分無し
緊急工事補正	設定区分無し
前払支出割合区分	3 5 %を超える 4 0 %以下
契約保証に係る補正	契約保証に係る補正を行わない

## 本 工 事 費 内 訳 書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
ほ場整備工事01	1	式				
※A箇所						
土工	1	式				
掘削 小規模 土砂 標準	192	m3			P 1号	
床掘り 土砂 小規模	21	m3			P 2号	
機械併用埋戻(小規模土工) 振動コパクタ(I) 砂質土	6	m3			单 3号	
機械併用盛土(小規模土工) 振動コパクタ(I) 砂質土	197	m3			单 4号	
耕土(表土) 土場渡し 中田建設【見積参考】	5	m3				
土砂等運搬 小規模 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂 35.0km以下 DID区間無 タイ損耗費(良好)含む	5	m3			P 5号	
基盤整地工:表土整地 作業条件:普通 普通11t級	0.003	ha			施 6号	
基盤整地工:基盤整地 作業条件:普通 普通11t級	0.003	ha			施 7号	
法面整形 盛土部 レキ質土、砂及び砂質土、粘性土 法面締固め無し 現場制約無し	3	m2			P 8号	

## 本 工 事 費 内 訳 書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
畦畔復旧	16	m			施 9号	
擁壁工	1	式				
積ブロック(練積)工 滑面8.5個/m <sup>2</sup> 裏込コンクリート厚=0cm	75	m <sup>2</sup>			单 10号	
裏込碎石 再生クラッシャン(RC-40、40~0mm)	43	m <sup>3</sup>			P 11号	
ブロック基礎工 A400-B450 小運搬なし	16	m			单 12号	
すり付け工 石積 控長35cm	17	m <sup>2</sup>			单 13号	
仮設工	1	式				
敷鉄板設置	288	m <sup>2</sup>			施 14号	
敷鉄板撤去	288	m <sup>2</sup>			施 15号	
敷鉄板賃料 22×1524×3048(mm) 供用日数69日	63	枚			施 16号	
※ B箇所						
土工	1	式				

## 本 工 事 費 内 訳 書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
掘削 小規模 土砂 標準	17	m3			P 1号	
仮設工	1	式				
敷鉄板設置	273	m2			施 14号	
敷鉄板撤去	273	m2			施 15号	
敷鉄板賃料 22×1524×3048 (mm) 供用日数2日	60	枚			施 17号	
直接工事費計						
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費(積上げ)	1	式				
運搬費	1	式				
仮設材の運搬 10kmまで 往復計上 S115920-0001	50,53	t				
共通仮設費(率化)	1	式				

## 本 工 事 費 内 訳 書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
共通仮設費率分	1	式				中山間地域
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				中山間地域
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				金銭的保証を必要としない
工事価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				
合計						

【第1号 施工パッケージ】 掘削 小規模 土砂 標準								1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 領	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】			26.01					
バックホウ(クローラ型) [標準型・排対型:2次基準] 標準パケット 山積0.28m <sup>3</sup> [平積0.2m <sup>3</sup> ]			26.01					
【労務】			62.89					
運転手 (特殊)			62.89					
【材料】			11.10					
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			11.10					
【端数調整】								
【条件】 [J1] = 1 土質 土砂 [J6] = 7 施工数量 標準		[J2] = 5	施工方法 上記以外(小規模)					

【第2号 施工パッケージ】							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 領	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			18.73				
バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・排対:2次] 標準バケット 山積0.28m <sup>3</sup> [平積0.2m <sup>3</sup> ]			18.73				
【労務】			74.16				
運転手 (特殊)			40.26				
普通作業員			33.90				
【材料】			7.11				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			7.11				
【端数調整】							
【条件】 [J1] = 1 土質 土砂		[J2] = 5	施工方法 上記以外(小規模)				

【 第 3 号 单価表 】

## 機械併用埋戻(小規模土工) 振動コンパクタ(I)

1 m3 当り

(砂質土 , )

【 第 4 号 单価表 】

## 機械併用盛土(小規模土工) 振動コンパクタ(I)

1 m<sup>3</sup> 当り

(砂質土 , )

【 第 5 号 施工パッケージ 】								1 m3 当り
土砂等運搬 小規模 パック畳山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂 (35.0km以下 DID区間無 , タイヤ損耗費(良好)含む )								
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 領	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】			26.52					
ダンプトラック[オノロード・ディーゼル] 4t積級			26.52					
【労務】			61.90					
運転手 (一般)			61.90					
【材料】			11.58					
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			11.58					
【端数調整】								
【条件】 [J1] = 2 土砂等発生現場 小規模 [J3] = 1 土質 土砂(岩塊・玉石混り土含む) [JD] = 13 運搬距離 35.0km以下	[J2] = 5	積込機種・規格 パック畳山積0.28m3(平積0.2m3) DID区間の有無 DID区間無						

【 第 6 号 施工単価表 】							1 ha 当り
基盤整地工:表土整地 作業条件:普通 (普通11t級 , )							
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 價	金 額	明細単価番号	基 準	
ブルドーザ運転 普通11t級 排対型:1次基準 損料補正なし		時間					
土木一般世話役		人					
普通作業員		人					
諸 雜 費 (丸め)	1	式					
計							
単位当たり							
[条件] [A] = 1 ブルドーザ規格 普通11t級 [C] = 2 作業条件 作業条件:普通		[B] = 2 作業内容区分 基盤整地工:表土整地 [X] = 2 ブルドーザ規格区分 排対型:1次基準					

【 第 7 号 施工単価表 】							1 ha 当り
基盤整地工:基盤整地 作業条件:普通 (普通11t級 , )							
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 價	金 額	明細単価番号	基 準	
ブルドーザ運転 普通11t級 排対型:1次基準 損料補正なし		時間					
土木一般世話役		人					
普通作業員		人					
諸 雜 費 (丸め)	1	式					
計							
単位当たり							
[条件] [A] = 1 ブルドーザ規格 普通11t級 [C] = 2 作業条件 作業条件:普通		[B] = 1 作業内容区分 基盤整地工:基盤整地 [X] = 2 ブルドーザ規格区分 排対型:1次基準					

【 第 8 号 施工パッケージ 】							1 m2 当り
法面整形 盛土部 レキ質土、砂及び砂質土、粘性土 (法面締固め無し , 現場制約無し )							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 領	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			11.87				
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3, 2011, 2014			11.87				
【労務】			75.95				
普通作業員			33.62				
運転手 (特殊)			28.67				
土木一般世話役			13.66				
【材料】			12.18				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			12.18				
【端数調整】							
【条件】							
[J1] = 1 整形箇所 盛土部			[J2] = 2 法面締固めの有無 法面締固め無し				
[J3] = 2 現場制約の有無 現場制約無し			[J4] = 2 土質 レキ質土、砂及び砂質土、粘性土				

## 【 第 9 号 施工単価表 】

畦畔復旧

10 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 價	金 額	明細単価番号	基 準
バックホウ運転(賃料) クローラ型 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35) 排対型:1次基準		日				
普通作業員		人				
諸 雜 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [Xc] = 2 バックホウ規格区分 排対型:1次基準						

庄原市

【第 10 号 单価表】

積ブロック(練積)工 滑面8.5個/m<sup>2</sup> 裏込コンクリート厚=0cm

1 m2 当り

【 第 11 号 施工パッケージ 】							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 領	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			4.22				
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3, 2011, 2014			4.20				
その他(機械)							
【労務】		69.23					
普通作業員			33.72				
特殊作業員			14.78				
運転手(特殊)			11.61				
土木一般世話役			8.71				
その他(労務)							
【材料】		26.55					
再生クラッシャラン 40~0mm			21.99				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			4.54				

## 【 第 11 号 施工パッケージ 】

(続き)

裏込砕石 再生クラッシャラン (RC-40、40~0mm)

1 m3 当り

【 第 12 号 单価表 】

ブロック基礎工 A400-B450

10 m 当り

( ), 小運搬なし

)

【 第 13 号 单価表 】

すり付け工 石積 控長35cm

10 m2 当り

## 【第14号 施工単価表】

敷鉄板設置

1,000 m<sup>2</sup> 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 價	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クレーン機能付)運転(貨料) クローラ型 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6) 排対型:2次基準		日				
諸 雜 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [Xc] = 3 バックホウ規格区分 排対型:2次基準						

## 【 第 15 号 施工単価表 】

敷鉄板撤去

1,000 m<sup>2</sup> 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 價	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ(クレーン機能付)運転(貨料) クローラ型 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6) 排対型:2次基準		日				
諸 雜 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [Xc] = 3 バックホウ規格区分 排対型:2次基準						

【 第 16 号 施工単価表 】							1 枚 当り
敷鉄板賃料 22×1524×3048(mm) ( , 供用日数69日 )							
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 價	金 額	明細単価番号	基 準	
(賃料)鋼板 22×1524×3048, 802kg/枚 90日以内	1	枚					
(賃料)鋼板 22×1524×3048, 802kg/枚 整備費	1	枚					
諸 雜 費 (丸め)	1	式					
計							
単位当たり							
[条件] [A] = 2 敷鉄板の種類 22×1524×3048(mm) [C] = 1 整備費の有無 有		[B]	= 69.000 日	供用日数			
		[D]	= 0.000 t	不足分弁償金数量			

【 第 17 号 施工単価表 】							1 枚 当り
敷鉄板賃料 22×1524×3048(mm) ( , 供用日数2日 )							
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 價	金 額	明細単価番号	基 準	
(賃料)鋼板 22×1524×3048, 802kg/枚 90日以内	1	枚					
(賃料)鋼板 22×1524×3048, 802kg/枚 整備費	1	枚					
諸 雜 費 (丸め)	1	式					
計							
単位当たり							
[条件] [A] = 2 敷鉄板の種類 22×1524×3048(mm) [C] = 1 整備費の有無 有		[B]	= 2.000 日	供用日数			
		[D]	= 0.000 t	不足分弁償金数量			

【第 18 号 施工パッケージ】								1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 領	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】			26.01					
バックホウ(クローラ型) [標準型・排対型:2次基準] 標準バケット 山積0.28m <sup>3</sup> [平積0.2m <sup>3</sup> ]			26.01					
【労務】			62.89					
運転手 (特殊)			62.89					
【材料】			11.10					
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			11.10					
【端数調整】								
【条件】 [J1] = 1 土質 土砂	[J2] = 4	作業内容 小規模(標準)						

【 第 19 号 施工单值表 】

埋戻 人力まき出し

10 m<sup>3</sup> 当り

(砂・砂質土 , 振動コンクリタ(区分 I ) )

【 第 20 号 施工単価表 】							10 m <sup>3</sup> 当り
盛土 人力まき出し (砂・砂質土 , 振動コンパクタ(区分 I) )							
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 價	金 額	明細単価番号	基 準	
特殊作業員		人					
普通作業員		人					
諸 雜 費 (率+丸め)		%					
締固め労務費の%							
計							
単位当たり							
[条件]							
[A] = 1 作業・施工区分 盛土 人力まき出し		[B] = 1 土質区分 砂・砂質土					
[C] = 5 締固め区分 振動コンパクタ(区分 I)							

## 【第 21 号 施工単価表】

積ブロック(練積)工 裏込コンクリート厚=0cm

10 m<sup>2</sup> 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 價	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_ブロック積工【手間のみ】						
時間的制約なし コンクリートブロック積工	10	m <sup>2</sup>				
生コンクリート 18-8-40 W/C60% 高炉	2.128	m <sup>3</sup>			施 27 号	
諸 雜 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 2 施工区分 練積			[B] = 3 脊込材・コンクリート規格 コンクリート(18-8-40)			
[N2] = 2 セメント種別 高炉B種			[N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし			
[C] = 1 練積(裏込コンクリート厚) t=0cm			[E] = 3 時間的制約の有無 時間制約無			
[F] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無						

【第22号 施工パッケージ】							1 m3 当り
コンクリート 人力打設 小型構造物 (18-8-40高炉60%, 一般養生 )							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 領	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】			41.15				
普通作業員			22.25				
土木一般世話役			9.19				
特殊作業員			7.69				
その他(労務)							
【材料】			58.85				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%), 高炉			58.85				
【端数調整】							
【条件】							
[J1] = 2 構造物種別 小型構造物			[J9] = 3 打設工法 人力打設				
[N1] = 14 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%			[J5] = 2 養生工の種類 一般養生				
[J7] = 2 現場内小運搬の有無 無し			[N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし				

## 【第 23 号 施工パッケージ】

型枠 一般型枠 小型構造物

1 m<sup>2</sup> 当り

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 領	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】							
型わく工			100.00				
普通作業員			44.28				
土木一般世話役			30.82				
その他(労務)			11.86				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 型枠の種類 一般型枠			[J2] = 2 構造物の種類 小型構造物				

庄原市

## 【第24号 施工パッケージ】

石積(張) 積工 練石 玉石

1 m<sup>2</sup> 当り

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 領	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			6.78				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2)吊能力1.7t 排糞型1,2,3次 低騒音			6.78				
【労務】			89.95				
普通作業員			44.62				
運転手(特殊)			25.36				
石工							
[参考値]			15.03				
土木一般世話役			4.94				
【材料】			3.27				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			3.27				
【端数調整】							
【条件】							
[J1] = 1 積張の区分 積工			[J2] = 1 構造区分 練石				
[J3] = 1 石の種類 玉石							

【 第 25 号 施工单值表 】

野面石採取 控長35cm

1 m2 当り

【 第 26 号 施工パッケージ 】							1 m3 当り
胴込・裏込コンクリート(石積(張)工) 積工 (18-8-40高炉60%, , )							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 領	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			1.83				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排糞型1, 2, 3次 低騒音			1.83				
【労務】		29.13					
普通作業員			11.32				
特殊作業員			10.09				
運転手 (特殊)		6.87					
その他(労務)							
【材料】		69.04					
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%), 高炉		68.16					
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油		0.88					
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 積張の区分 積工		[N1] = 6	胴込・裏込コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%				



【 第 27 号 施工单值表 】

生コンクリート 18-8-40 W/C60% 高炉

1 m3 当り

# 特記仕様書

## 第 1 章 総 則

### 第 1 節 適用

- 1 本特記仕様書は、**24／210 口和松永農地災害復旧工事** に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
  - ・土木工事共通仕様書（令和7年8月 広島版（適用区分「広島」及び「広島県」））  
※ 土木工事共通仕様書は、「広島県の調達情報」に掲載されている。 <https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
  - ・その他関連規格類

### 第 2 節 適用除外

本工事では、土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）における下記の項目については適用しない。

- ・ 1-1-2-14 施工管理 1. 標示板の設置
- ・ 1-1-3-7 契約後VE工事
- ・ 1-1-3-9 県産木材の活用
- ・ 3-1-1-7 工事完成図書の納品 6. 地質調査の電子成果品等

### 第 3 節 用語等の読みかえ

土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）に規定されている用語等については次のとおり読みかえる。

土木工事共通仕様書に規定されている用語等			特記仕様書第1章総則で読みかえる用語等
1-1-1-2 用語の定義	6. 設計図書	工事数量総括表	本工事費内訳書
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事監督規程	庄原市建設工事監督規程
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事検査規程	庄原市建設工事検査規程
1-1-2-2 用語の定義	1. 監督職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-2 用語の定義	2. 総括監督員	広島県契約規則（昭和39年4月1日規則第32号）	庄原市契約規則（平成17年3月31日規則第47号）
1-1-2-2 用語の定義	4. 技術検査	土木工事検査技術基準	庄原市建設工事検査基準
1-1-2-2 用語の定義	5. 検査職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-5 工事の下請負	1. 下請負者の資格	広島県の建設工事入札参加資格	庄原市の建設工事入札参加資格
1-1-2-5 工事の下請負	2. 指名除外	広島県の「建設業者等指名除外要綱」の指名停止	庄原市建設業者指名除外基準要綱の指名除外
1-1-2-5 工事の下請負	5. 下請け	広島県内	庄原市内
1-1-2-5 工事の下請負	6. 県外業者を下請業者とする場合の理由書	県外	市外

### 第 4 節 災害復旧工事に係る緩和措置

本工事は、災害復旧工事に該当し、緩和措置については、次のとおり取り扱う。

- 1 現場代理人（請負金額が 4,500万円（建築一式工事にあっては、9,000万円）未満の場合に限る。）が、特記仕様書 第1章 総則 第5節

- 「現場代理人の兼務」1に掲げる条件（（3）の条件を除く。）を満たすときは、同節の申請手続をすることなく、他の公共工事の現場における現場代理人又は主任技術者との兼務を認める。
- 2 請負代金額が3,500万円未満の災害復旧工事等については、原則、評定の対象外とする。なお、変更契約により3,500万円以上になった場合も評定の対象としない。
  - 3 請負代金額が5,000万円未満の工事については、中間検査を省略する。

## 第 5 節

### 現場代理人の兼務

- 1 受注者は、請負代金額が4,500万円（建築一式工事にあっては、9,000万円）未満に該当することにより現場代理人の工事現場への常駐を要しないこととされた場合であって、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を申請することができる。  
ただし、令和7年4月3日付「災害復旧工事における特例措置」の期間にあっては、兼務制限の件数から災害復旧工事を除くこととする。
  - (1) 兼務する工事が公共工事であり、庄原市内の工事であること
  - (2) 兼務する工事件数が本件工事を含め3件（災害復旧工事に係る件数を除く）以内であること
  - (3) 兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること
  - (4) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること
- 2 受注者は、前項に掲げるほか、密接に関係のある他の公共工事（建設業法施行令（昭和31年政令第273号）第27条第2項が適用される工事として、同一の専任の主任技術者による工事の管理が認められたものに限る。）において現場代理人又は主任技術者として配置されている期間であって、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。
  - (1) 同一の主任技術者による管理が認められた公共工事であること
  - (2) 兼務する工事件数が本件工事を含め2件以内であること
  - (3) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、兼務の承認を取消すものとする。
  - (1) 兼務に関する事項で、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
  - (2) 著しい状況の変化により、兼務をすることが適當でなくなったとき
  - (3) その他、発注者の判断で兼務をすることが適當でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行なうことがある。

## 第 6 節

### 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者

- 1 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の配置要件の取り扱いについては、土木工事共通仕様書 1-1-3-3 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「5. 配置要件」によらず、次のとおり取り扱う。  
一般土木工事（建築一式工事以外）の契約約款第10条第1項第2号の規定により配置する主任技術者又は監理技術者は次によるものとする。
  - (1) 下請契約金額の総額が5,000万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合は、監理技術者を配置する。
  - (2) 請負代金額4,500万円以上の場合、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について技術者を専任配置する。

- (3) 請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について配置する技術者が、兼務する工事件数（請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満）は、この工事を含めて3件までとする。
- (4) 請負金額が 4,500万円以上 1億円未満の工事で建設業法施行令第27条第2項が適用される工事にあっては、主任技術者が兼務できる工事件数は、この工事を含めて2件以内とする。
- 2 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の誓約書の取り扱いについては、土木工事共通仕様書 [1-1-3-3 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「6. 誓約書」](#) よりらず、次のとおり取り扱う。  
 「現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届」には、次の各号に定める誓約書を添付しなければならない。
- (1) 請負代金額が 4,500万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合  
 配置する主任技術者又は監理技術者について、他の工事の主任技術者又は監理技術者として配置していない旨の誓約書。
- (2) 請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合  
 配置する主任技術者又は監理技術者について、次の〔1〕又は〔2〕に掲げる主任技術者又は監理技術者若しくは現場代理人として現在3件（本件工事は含まない。）以上の工事に配置していない旨の誓約書。
- 〔1〕 500万円以上 4,500万円未満（建築一式工事については、1,500万円以上 9,000万円未満）の建設工事の主任技術者又は監理技術者  
 〔2〕 災害復旧工事以外の工事の現場代理人

## 第 7 節

### 情報共有システム

本工事は、受注者からの申し出により監督員が承諾した場合に限り、情報共有システムを利用することができる。なお、利用することとなった場合には土木工事共通仕様書 [1-1-1-26 施工管理「10. 工事情報共有化」](#) に従うこと。

## 第 8 節

### 工事関係書類の事前協議（情報共有システム利用工事に限る。）

受注者は、「土木工事書類作成マニュアル（案）令和2年11月（令和7年8月改定）広島県」に記載のある「2 工事関係書類一覧」に基づき、工事着手前に、工事書類の電子又は紙による提出又は提示方法を監督員と事前協議し決定する。ただし、出来形管理図表・品質管理表・工事写真の提出又は提示方法については、紙に変更できるものとする。

## 第 9 節

### 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書 [1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこと](#)とする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

#### 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

#### 2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101credas1top.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)

### 3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

### 4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

### 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

### 6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

### 7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

### 8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

### 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

## (5) 建設発生土の搬出が完了した日

## 1.0 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

## 1.1 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

## 1.2 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

## 1.3 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合

(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合

(3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード

(4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

## 第2章 材料

## 第1節

## 寒中コンクリート

当該工事における次の対象構造物は寒中コンクリートとして施工し、次のとおり取り扱うこと。

## 1 対象構造物

令和7年12月1日から令和8年2月29日までの期間に施工するコンクリート構造物。  
ただし、ダムコンクリート（砂防ダムを除く）、トンネル坑内、場所打ちコンクリート杭、均しコンクリートは除く。

## 2 養生方法

養生方法は給熱養生を標準とし、詳細については監督職員と協議すること。

## 3 打設数量の確認

対象構造物のコンクリート打設数量については、施工後、打設図等の数量確認資料を作成し監督職員へ提出すること。

## 第3章

## その他

- 1 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。
- 2 事前に関係河川漁協と協議を行い、同意等の承諾を得ること。
- 3 本工事における濁水の影響が想定される場合は、監督職員と協議すること。

24/210 口和松永農地

# 数量計算書

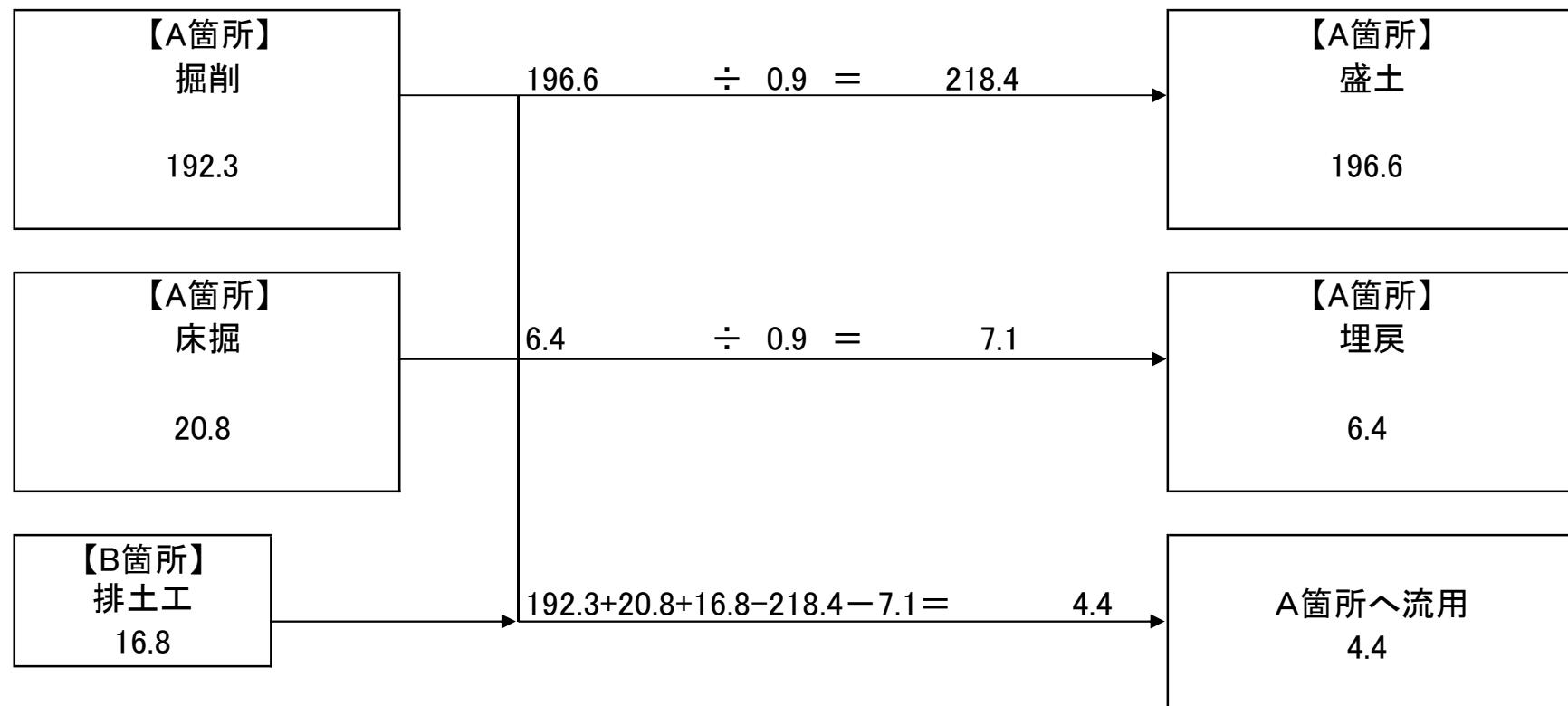
# 数 量 一 覧 表

24/210 口和松永農地

名 称	形 状・寸 法 等	単位	数 量		備 考			
			実 施	変 更				
<b>【A箇所】</b>								
<b>土 工</b>								
掘 削	バックホウ0.2m3	m3	192.3					
床 堀	バックホウ0.2m3	m3	20.8					
埋 戻	振動コンパクタ(I)	m3	6.4					
盛 土	振動コンパクタ(I)	m3	196.6					
表土	購入土	m3	4.8					
心土	B箇所より流用	m3	4.7					
<b>法 面 工</b>								
畦畔築立		m	16.0					
法面整形		m2	3.2					
<b>土 留 工</b>								
ブロック積	練積 1:0.5 裏コン なし	m2	75.2					
裏込碎石	RC-40	m3	43.2					
基礎コンクリート	A400-B450	m	16.0					
すり付け工	練石積	m2	17.0					
<b>【B箇所】</b>								
<b>土 工</b>								
排土工		m3	16.8					

## 數量一覽表

## 土量配分表



購入土	→	表土	4.8	m <sup>3</sup>
A箇所へ流用	→	心土	4.7	m <sup>3</sup>

24/210 口和松永農地

【A箇所】

24/210 口和松永農地

## 【A箇所】

# 計第 2 表 土工 数量計算書

24/210 口和松永農地

【A箇所】

# 工画面法 第3表 計

## 数 量 計 算 書

## 備 考

24/210 口和松永農地

【A箇所】

# 計第 4 表 土 留 工

## 數量計算書

## 備 考

番号	種別 距離	ブロック積		裏込碎石		基礎コンクリート				
		SL	平均	m2	A	平均	m3			m
NO.0		4.7			2.7					
+6.0	6.0	4.7	4.70	28.2	2.7	2.70	16.2		6.0	
+16.0	10.0	4.7	4.70	47.0	2.7	2.70	27.0		10.0	
合計		16.0		75.2			43.2		16.0	

24/210 口和松永農地

## 【A箇所】

計第 5 表

## 工 留 士

## 數量計算書

備 考

24/210 口和松永農地

## 【B箇所】

# 計第 6 表 土工 数量計算書

# 仮 設 日 数 ( 敷 鉄 板 ) 算 定 表

令和元年10月以降

## 1. 日当り作業量算定表

番号	名称	規格	単位当歩掛	日当作業量	番号	名称	規格	単位当歩掛	日当作業量	番号	名称	規格	対象作業量	日当作業量	掛人員台数	日数	備考	
1	人力積込	砂・砂質土・粘性土・礫質土 岩塊・玉石		7.10 m <sup>3</sup> /日	34	練積ブロック	t=0~20cm		11.00 m <sup>2</sup> /日		土工		【A箇所】				◎原則は人掛けとする	
2				5.30 "	35	石	発生材(空積)	控 25~75cm	0.100 人/m <sup>2</sup>	10.00 "	13	機械掘削	地山の掘削	192.3	37.00	1	5.2	
3	岩掘機 コンクリートブレーカ	軟岩 I		25.00 "	36					20	機械床掘	土砂	20.8	32.00	1	0.7		
4		軟岩 II		17.00 "	37					32	盛土・埋戻	砂・砂質土	6.4	14.71	1	0.4		
5		中硬岩		13.00 "	38	工	練 積	玉石		14	機械掘削	ルースの積込	6.4	42.00	1	0.2		
6		硬岩 I		8.00 "	39			雑割石		32	盛土・埋戻	砂・砂質土	196.6	14.71	1	13.4		
7	削大型ブレーカー( I )	軟岩		59.00 "	40	裏込工	積ブロック	0.140 人/m <sup>3</sup>	7.14 m <sup>3</sup> /日	14	機械掘削	ルースの積込	196.6	42.00	1	4.7		
8		硬岩		45.00 "	41		張ブロック	0.080 人/m <sup>3</sup>	12.5 "	55	畦畔復旧工	山積0.45m <sup>3</sup>	16.0	80.00	1	0.2		
9	人力掘削	砂・砂質土・粘性土・礫質土 岩塊・玉石		4.00 "	42	型 枠	無筋構造物		38.00 m <sup>2</sup> /日	25	盛土法面整形	締固め無	3.2	220.00	1	0.1		
10				3.00 "	43		鉄筋構造物		38.00 "	34	練積ブロック	t=0~20cm	75.2	11.00	1	6.8		
11	機械掘削	0.10m <sup>3</sup>	地山の掘削	15.00 "	44	コンクリート( 人工打設 )	小構造物		15.00 "	40	裏込工	積ブロック	43.2	7.14	1	6.1		
12			ルースの積込	22.00 "	45		無筋構造物		4.00 m <sup>3</sup> /日	47	コンクリート人力打設	小構造物	2.5	5.00	1	0.5		
13	機械掘削	0.20m <sup>3</sup>	地山の掘削	37.00 m <sup>3</sup> /日	46		鉄筋構造物		4.00 "	50	養生	小構造物	2.5	15.63	1	0.2		
14			ルースの積込	42.00 "	47		小構造物		5.00 "	44	型 枠	小構造物	10.4	15.00	1	0.7		
15	機械掘削	0.35m <sup>3</sup>	ルースの積込	160.00 "	48		無筋構造物	0.031 人/m <sup>3</sup>	32.26 "	39	石積工	雑割石	17.0	19.00	1	0.9		
16			地山の掘削	片切掘削	220.00 "	49	( 一般養生 )	鉄筋構造物	0.016 "	62.50 "								
17	機械掘削	0.60m <sup>3</sup>	ルースの積込		50	小構造物	0.064 "	15.63 "										
18			土砂		51	鉄筋組立	無筋構造物		3.50 t/日									
19	人力床掘	岩塊・玉石		2.40 "	52		一般構造物		4.00 "									
20				1.70 "	53	フトン箒	階段式		21.00 m/日									
21	機械床掘	0.35m <sup>3</sup>	土砂	土留・障害なし	54	( H=500 )	止杭打込		17.00 本/日									
22			岩塊・玉石	土留・障害なし	55		畦畔復旧工	山積0.45m <sup>3</sup>		80.00 m/日								
23	機械掘削	0.60m <sup>3</sup>	土砂	土留・障害なし	56	芝付工		0.023 人/m <sup>2</sup>	43.48 m <sup>2</sup> /日									
24			岩塊・玉石	土留・障害なし	57	大型土のう製作			62.00 袋/日									
25	盛土法面整形	締固め無	現場制約なし	220.00 m <sup>2</sup> /日	58	大型土のう設置	バックホウ使用		86.00 "									
26			締固め有	現場制約なし	59	大型土のう撤去	バックホウ使用		144.00 "									
27	切土法面整形	砂・砂質土・粘性土・礫質土	易制約なし	140.00 "	60	人力荒仕上げ	砂・砂質土・粘性土・礫質土	0.012 人/m <sup>2</sup>	83.33 m <sup>2</sup> /日		小計						40.1	
28	As舗装版切断	15cm以下		230.00 m/日	61	As舗装版破碎・積込	0.45/バックホウ・15cm以下		510.00 "			割増係数	1.7	40.1 × 1.7=			68.2	
29	Co舗装版切断	15cm以下		150.00 "	62	Co舗装版破碎・積込	0.45/バックホウ・15cm以下		510.00 "									
30	舗装版破碎積込	0.10m <sup>3</sup> バックホウ		23.00 m <sup>2</sup> /日	63	無筋構造物取壊	機械施工		19.00 "			敷鉄板設置(m2)		288.0	666.67	1	0.4	
31	基面整正			50.00 m <sup>2</sup> /日	64		人力施工		5.50 "			敷鉄板撤去(m2)		288.0	714.29	1	0.4	
32	盛土・埋戻( 人力まき出し )	砂・砂質土	0.068 人/m <sup>3</sup>	14.71 "	65	鉄筋構造物取壊	機械施工		11.00 "								69.0	
33		粘・礫質土	0.085 "	11.76 "	66		人力施工		4.00 "			合計					69 日	

その他よく使う歩掛									
番号	名称	規格	単位当歩掛	日当作業量	番号	名称	規格	単位当歩掛	日当作業量
67	排水構造物	U型側溝 L=600mm	60kg/個以下	28.00 m/日	100	植生マット工	肥料袋付		200.00 m <sup>2</sup> /日
68			61~300kg/個以下	26.00 "	101	人力施工による植生工	肥料袋無		250.00 "
69		U型側溝 L=2000mm	1000kg/個以下	43.00 "	102	植生シート工	肥料袋無		100.00 "
70			1001~2000kg/個以下	29.00 "	103	植生筋工	人工筋芝		90.00 "
71			2001~2900kg/個以下	23.00 "	104	筋芝工	野芝・高麗芝		300.00 "
72		蓋版	40kg/以下	200.00 枚/日	105	張芝工	野芝・高麗芝		1510 m <sup>2</sup> /日・層
73			41~170kg/枚以下	120.00 "	106	車道・路肩	不陸整正		940 "
74	路体盛土埋戻	2.5m未満		50.00 m <sup>3</sup> /日	107	路盤	下層・上層路盤		
75				86.00 "	108	歩道	下層・上層	268	"
76		4m以上	10,000m <sup>3</sup> 未満	370.00 m <sup>3</sup> /日	109		1.4m未満(50mm以下)		250 "
77			10,000m <sup>3</sup> 以上	540.00 "	110		1.4m未満(51~100mm)		230 "
78					111	工	1.4~3.0m	1300	"
79					112		3.0m超		2300 "
80					113		標準	760	m <sup>3</sup> /日
81		タンパ締固め		36.00 m <sup>3</sup> /日	114		標準以外	1090	"
82	暗渠配水管布設	直管	50~150	250.00 m/日	115	敷均し(ルーズ)	狭小幅員	140	"
83			200~400	125.00 "	116		標準	0.58 人/m <sup>3</sup>	1.72 m <sup>3</sup> /日
84		波・網状管	50~150	429.00 "	117		標準以外	0.41 人/m <sup>3</sup>	2.44 "
85			200~400	273.00 "	118		狭小幅員	0.46 人/m <sup>3</sup>	2.17 "
86			450~600	150.00 "	119	砂利舗装	アスカーブ		260.00 m/日
87		フィルター材		36.00 m <sup>3</sup> /日	120	砂利舗装	敷均し	0.01 人/m <sup>2</sup>	100.00 m <sup>2</sup> /日
88			1.4m未満	250.00 m <sup>2</sup> /日・層	121		不陸整正+敷均し	0.018 人/m <sup>2</sup>	55.56 "
89			1.4~3.0m	1300.00 "	122		敷均し	バックホウ0.28	0.0069 人/m <sup>2</sup>
90	As舗装工		3.0m超	2300.00 "	123		不陸整正+敷均し	バックホウ0.28	0.0099 人/m <sup>2</sup>
91		歩道	1.4未満	250.00 "	124		敷均し	バックホウ0.45	0.0069 人/m <sup>2</sup>
92			1.4以上	940.00 "	125		不陸整正+敷均し	バックホウ0.45	0.0099 人/m <sup>2</sup>
93		遠心力鉄筋Co(B形)機械布設	200~350	50.00 m/日	126		基礎碎石	RC-40	101.01 "
94			400~600	25.00 "	127		小口止工		155.00 "
95			700~1000	17.00 "	128				1.00 基/日
96			1100~1350	14.00 "	129				
97		養生(練炭養生)	無筋構造物	0.088 人/m <sup>3</sup>	130				
98			鉄筋構造物	0.054 人/m <sup>3</sup>	131				
99			小構造物	0.160 人/m <sup>3</sup>	132				

# 仮 設 日 数 ( 敷 鉄 板 ) 算 定 表

令和元年10月以降

## 1. 日当り作業量算定表

その他よく使う歩掛									
番号	名称	規格	単位当歩掛	日当作業量	番号	名称	規格	単位当歩掛	日当作業量
67	排水構造物	U型側溝 L=600mm	60kg/個以下	28.00 m/日	100	植生マット工	肥料袋付		200.00 m <sup>2</sup> /日
68			61~300kg/個以下	26.00 "	101	人力施工による植生工	肥料袋無		250.00 "
69		U型側溝 L=2000mm	1000kg/個以下	43.00 "	102	植生シート工	肥料袋無		100.00 "
70			1001~2000kg/個以下	29.00 "	103	植生筋工	人工筋芝		90.00 "
71			2001~2900kg/個以下	23.00 "	104	筋芝工	野芝・高麗芝		300.00 "
72		蓋版	40kg/以下	200.00 枚/日	105	張芝工	野芝・高麗芝		1510 m <sup>2</sup> /日・層
73			41~170kg/枚以下	120.00 "	106	車道・路肩	不陸整正		940 "
74	路体盛土埋戻	2.5m未満		50.00 m <sup>3</sup> /日	107	路盤	下層・上層路盤		
75				86.00 "	108	歩道	下層・上層	268	"
76		4m以上	10,000m <sup>3</sup> 未満	370.00 m <sup>3</sup> /日	109		1.4m未満(50mm以下)		250 "
77			10,000m <sup>3</sup> 以上	540.00 "	110		1.4m未満(51~100mm)		230 "
78					111	工	1.4~3.0m	1300	"
79					112		3.0m超		2300 "
80					113		標準	760	m <sup>3</sup> /日
81		タンパ締固め		36.00 m <sup>3</sup> /日	114		標準以外	1090	"
82	暗渠配水管布設	直管	50~150	250.00 m/日	115	敷均し(ルーズ)	狭小幅員	140	"
83			200~400	125.00 "	116	普通土のう仕揃え	0.58 人/m <sup>3</sup>	1.72	m <sup>3</sup> /日
84		波・網状管	50~150	429.00 "	117	普通土のう設置	0.41 人/m <sup>3</sup>	2.44	"
85			200~400	273.00 "	118	普通土のう撤去	0.46 人/m <sup>3</sup>	2.17	"
86			450~600	150.00 "	119	アスカーブ		260.00	m/日
87		フィルター材		36.00 m <sup>3</sup> /日	120	砂利舗装	砂 敷均し	0.01 人/m <sup>2</sup>	100.00 m <sup>2</sup> /日
88			1.4m未満	250.00 m <sup>2</sup> /日・層	121		不陸整正+敷均し	0.018 人/m <sup>2</sup>	55.56 "
89			1.4~3.0m	1300.00 "	122		敷均し	バックホウ0.28	0.0069 人/m <sup>2</sup>
90	As舗装工	車道・路肩	3.0m超	2300.00 "	123		バックホウ0.28	0.0099 人/m <sup>2</sup>	144.93 "
91			1.4未満	250.00 "	124		不陸整正+敷均し	バックホウ0.45	0.0069 人/m <sup>2</sup>
92			1.4以上	940.00 "	125		バックホウ0.45	0.0099 人/m <sup>2</sup>	144.93 "
93		歩道	200~350	50.00 m/日	126		基礎碎石	RC-40	101.01 "
94			400~600	25.00 "	127		小口止工		155.00 "
95	遠心力鉄筋Co(B形)機械布設	700~1000	17.00 "	128					
96		1100~1350	14.00 "	129					
97		養生(練炭養生)	無筋構造物	0.088 人/m <sup>3</sup>	130				
98			鉄筋構造物	0.054 人/m <sup>3</sup>	131				
99		小構造物	0.160 人/m <sup>3</sup>	6.25 "	132				

## 敷鉄板運搬費

敷鉄板運搬費は、農林水産省 土地改良工事積算基準（土木工事）平成29年度（以下、積算基準）による。

積算基準P875より

$$U = (E \times (1 + F1 + F2)) \times G + H$$

ただし、U：仮設材の運搬費

E：基本運賃料金（円/t）・・・P875 基本運賃料金表より 2,070円/t

F1：冬期割増率・・・計上なし

F2：深夜・早朝割増・・・計上なし

G：運搬質量（t）

H：その他の諸料金（円） 有料道路使用料等

敷鉄板規格：22×1524×3048

敷鉄板1枚当たり面積：4.6m<sup>2</sup>/枚

敷鉄板1枚当たり重量：802kg/枚

敷鉄板設置面積（m<sup>2</sup>）

288 m<sup>2</sup>

敷鉄板使用枚数（枚）

288 ÷ 4.6 = 63 枚

敷鉄板総重量（t）

63枚 × 0.802 =

50.53

【A箇所】

## 敷鉄板延長

96.0

敷鉄板枚数

63

## 敷鉄板運搬費

【B箇所】

敷鉄板運搬費は、農林水産省 土地改良工事積算基準（土木工事）平成29年度（以下、積算基準）による。

積算基準P875より

$$U = (E \times (1 + F1 + F2)) \times G + H$$

ただし、U：仮設材の運搬費

E：基本運賃料金（円/t）・・・P875 基本運賃料金表より 2,070円/t

F1：冬期割増率・・・計上なし

F2：深夜・早朝割増・・・計上なし

G：運搬質量（t）

H：その他の諸料金（円） 有料道路使用料等

## 敷鉄板延長

91.0

敷鉄板枚数

60

敷鉄板規格：22×1524×3048

敷鉄板1枚当たり面積：4.6m<sup>2</sup>/枚

敷鉄板1枚当たり重量：802kg/枚

敷鉄板設置面積（m<sup>2</sup>）

273 m<sup>2</sup>

敷鉄板使用枚数（枚）

273 ÷ 4.6 = 60 枚

敷鉄板総重量（t）

60枚 × 0.802 =

48.12